

”個人テクニック“と”集団テクニック“

Técnica Individual y Colectiva

ポジション別 タスク

Tareas por Posiciones

フォワード編

フォワードの主なメイン原則

攻撃

- 攻撃の深さ
- サポートを提供する
- 攻撃を牽引する
- フィニッシュゾーンでのシュート
- センタリングに対してのシュート

守備

- スペースの守備
- ボール保持者への守備
- 攻撃への準備

フォワード編①攻撃の深さ

1, 自チームの深さを確保する

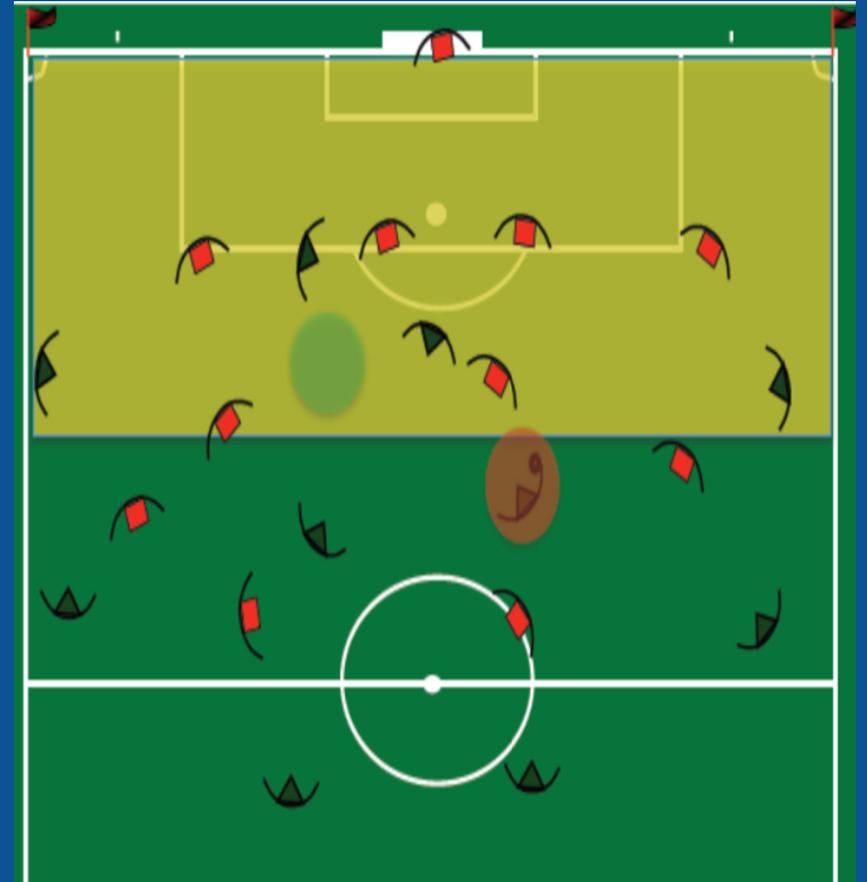
- ディフェンスと中盤のラインを分断させるため、フォワードの選手は相手のDFラインを下げさせる。(中央でのプレーのためのスペースを広げる。)
- 時にはオフサイドポジションからプレーを始める。(相手DFの視野から外れ、そして現れる。)
- システムによっては、サイドハーフが深さをとる役割を担う。



フォワード編②サポートを提供する

1, 体の向き

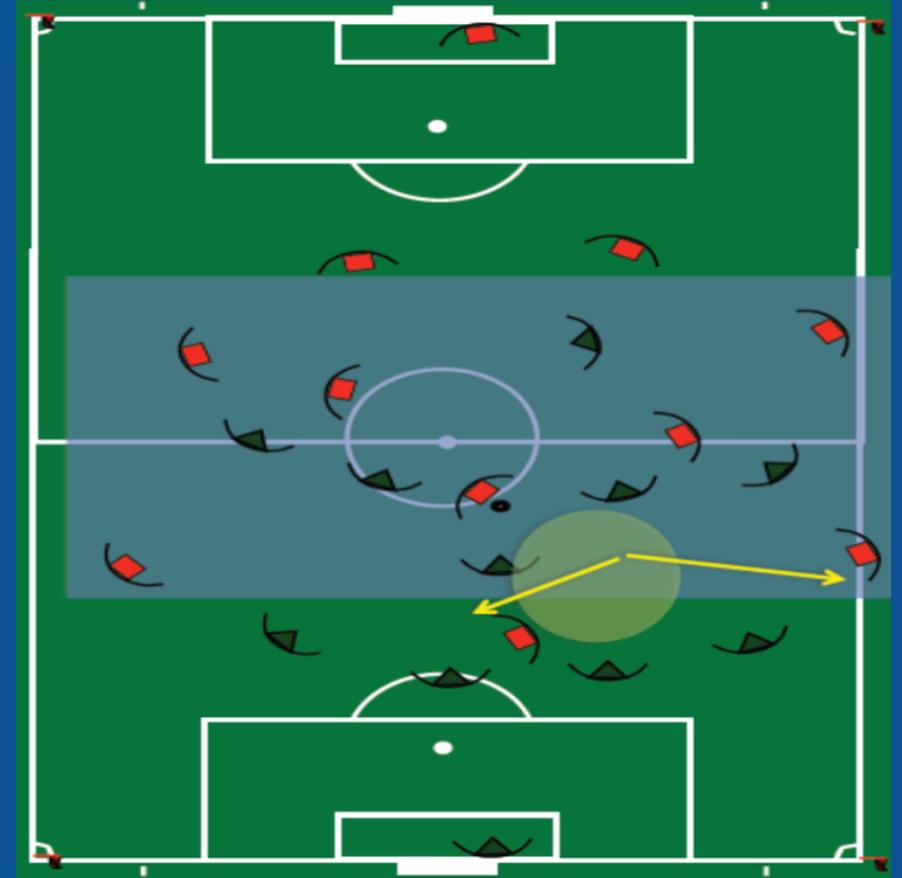
- ボールとピッチをより広く見られるような体の向きを作る。
- サポートのデスマルケの際、ターンできるか、ついて来ている相手に背を向けてプレーしなければいけないかを見る。
- 味方がプレッシャーを受けていない場合、半身を作る。
- ボールが中央にある場合は体の向きを作るのは難しく、サイドにある場合はより簡単である。



フォワード編②サポートを提供する

2, ポゼッションを継続させるサポート

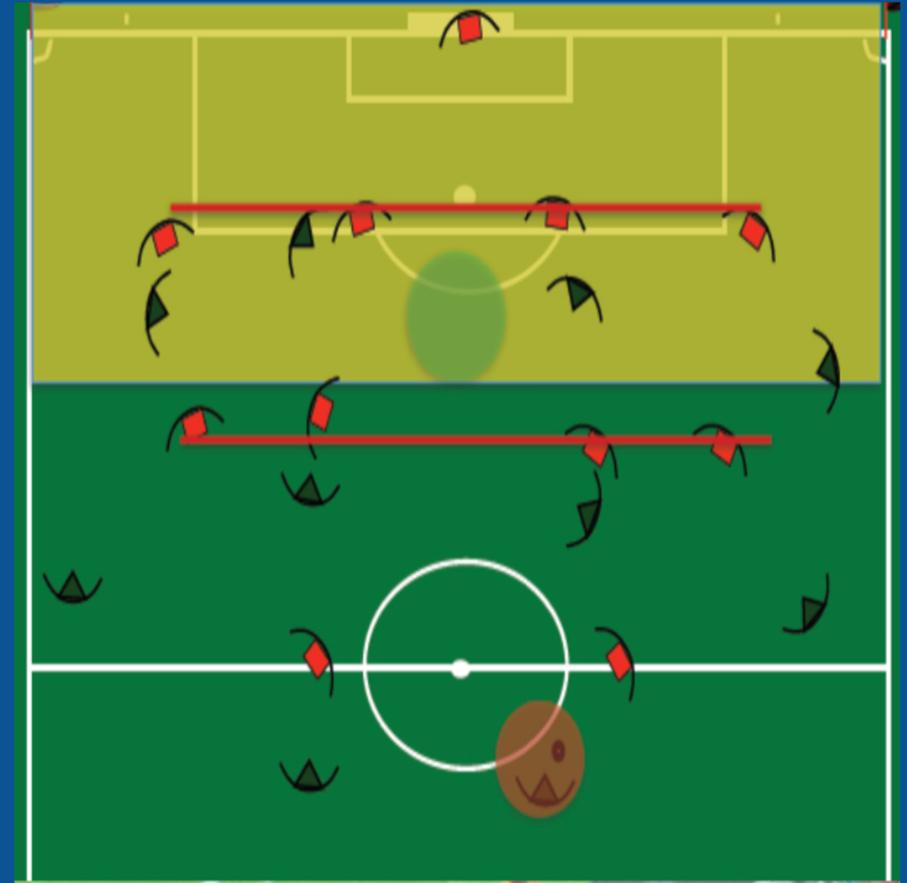
- 自チームが前進出来ず、ボールを動かす必要がある場合に、このサポートを優先して行う。
- 味方へのプレッシャーが強く、自分が1列目にいる場合に継続のサポートをする。
- リズムを変えて、速いデスマルケ



フォワード編②サポートを提供する

3, 2列目でのサポートのデスマルケまたは深い位置でのサポート

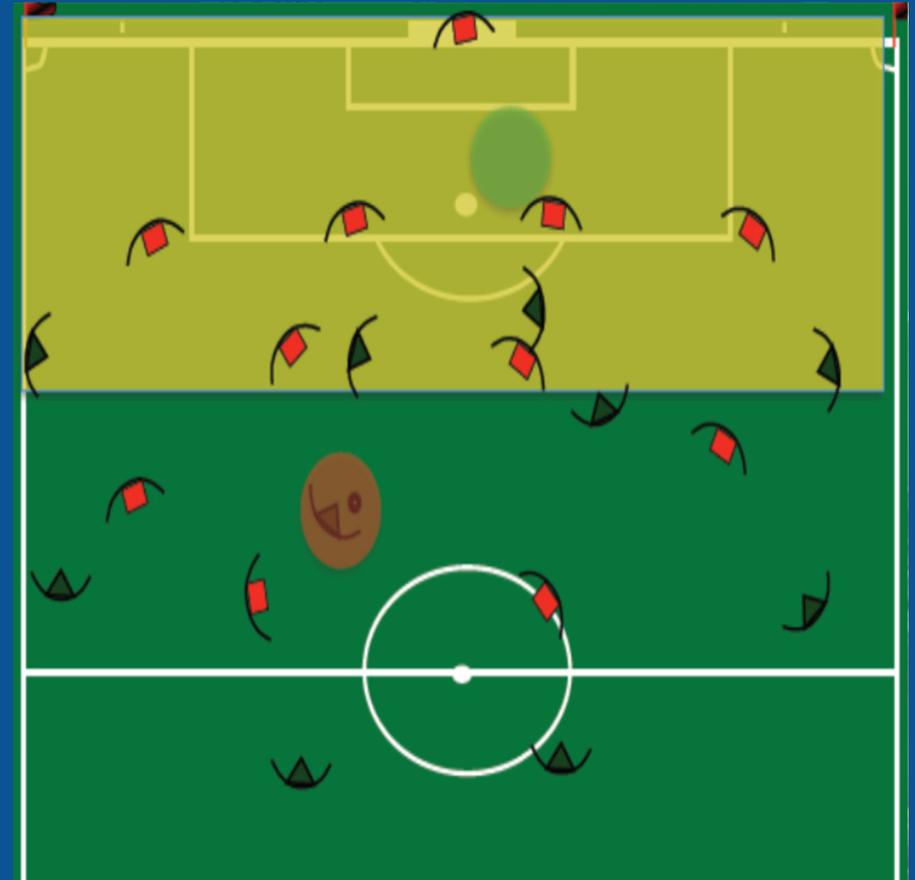
- ゾーン1から2にかけて、自チームが相手のプレッシャーによってボールを進められない場合、このサポートを優先する。
- サイドにパスコースを与える。
- 近い味方と相手選手を見ておく。



フォワード編③攻撃を牽引する

1, ゴールに向かう深い位置でのデスマルケ

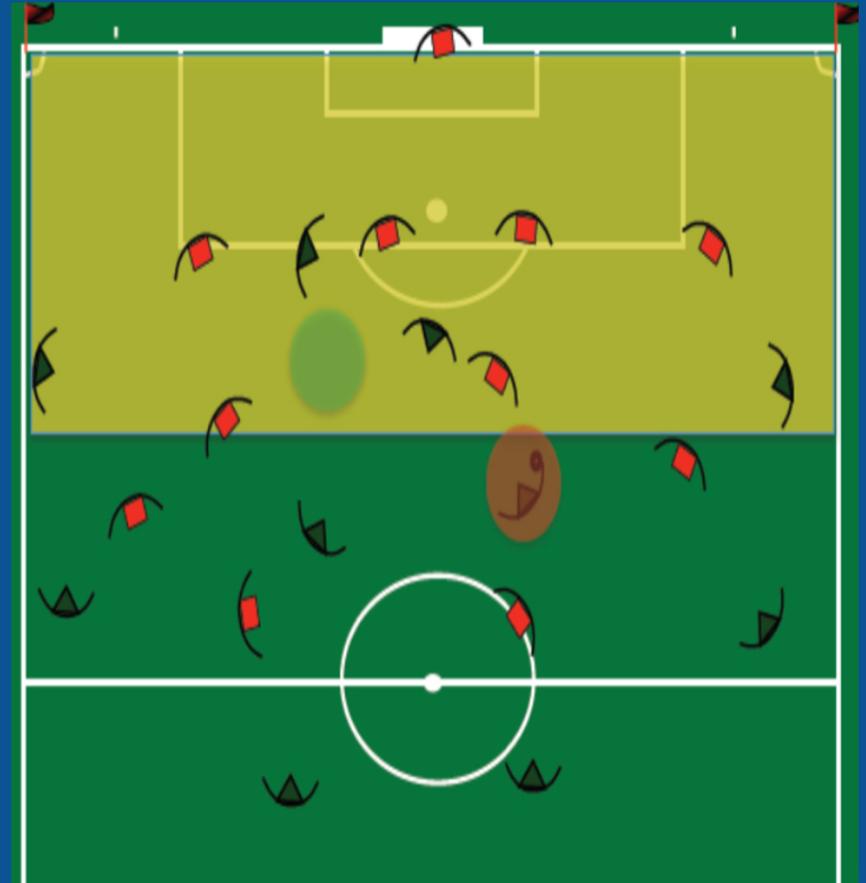
- ボール保持者とのアイコンタクトとパスの選択肢。
- 相手DFラインの乱れを見ておく。（特に最前線の選手）
- 相手の視野から外れ、リズムを変えるために、フォワードは相手DFラインの背後を狙う。
-1枚目もしくは2枚目のの相手センターバックの後ろから。
- デスマルケによってゴールから離れてしまわないようにする。



フォワード編③攻撃を牽引する

2, 斜めにサポートのデスマルケ

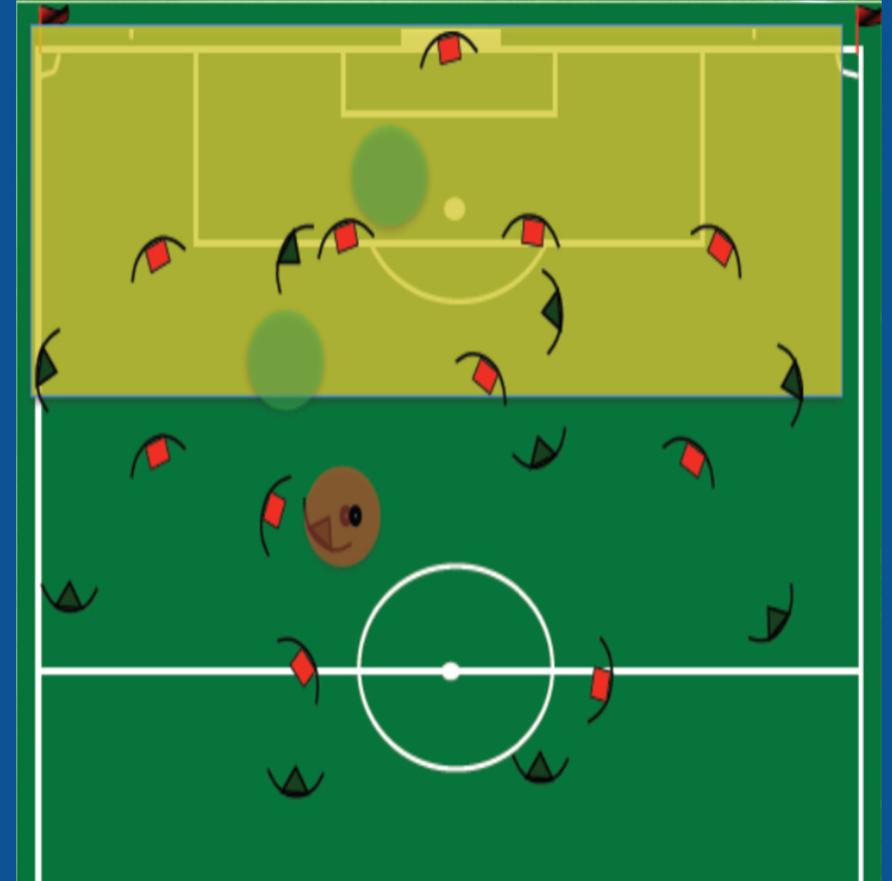
- フォワードは半身の状態、斜めにマークを外してサポートする。
- 緊急のサポートもしくは継続のサポートでない限り、垂直に近づかない。
- プレッシャーが弱い場合、ゴールに向かってライン間でボールを受ける。
- プレッシャーが強い場合、デスマルケのスペースを空けておく。



フォワード編③攻撃を牽引する

3, 2種類のデスマルケを織り混ぜる

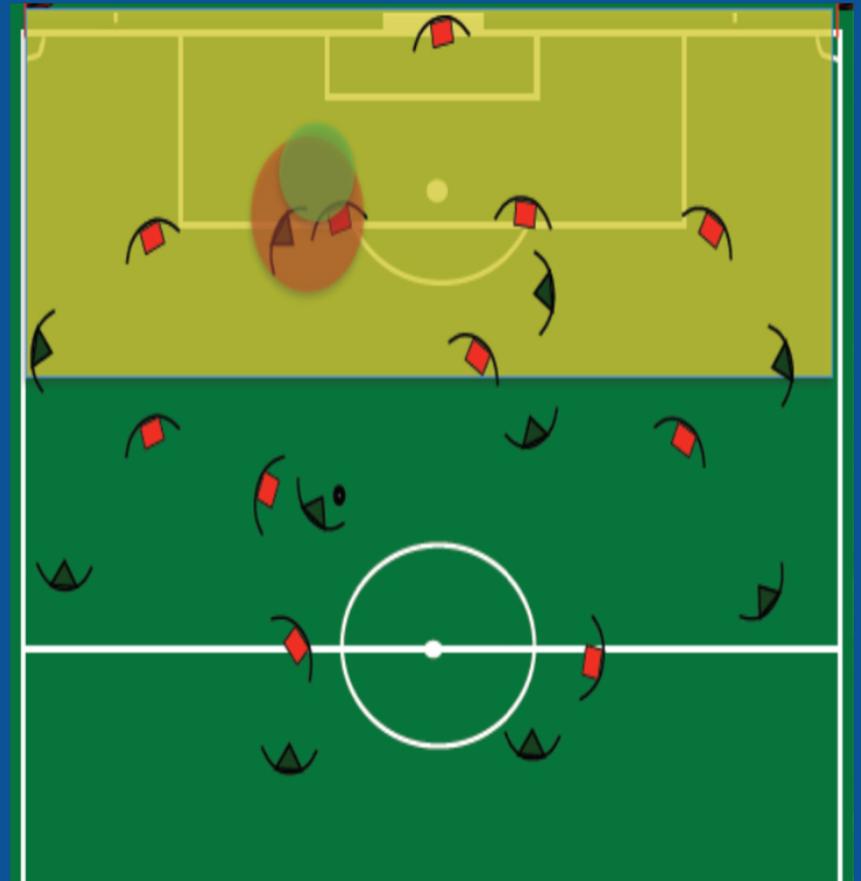
- DFラインを困惑させるため、異なる動きを織り混ぜる。
- リズムを変えながら、常に動く。
- 「出たり入ったり」を繰り返す。
- 「入って」来てボールを受けられない場合、また「出て」行く。



フォワード編③攻撃を牽引する

4, デスマルケのためのスペースを作る

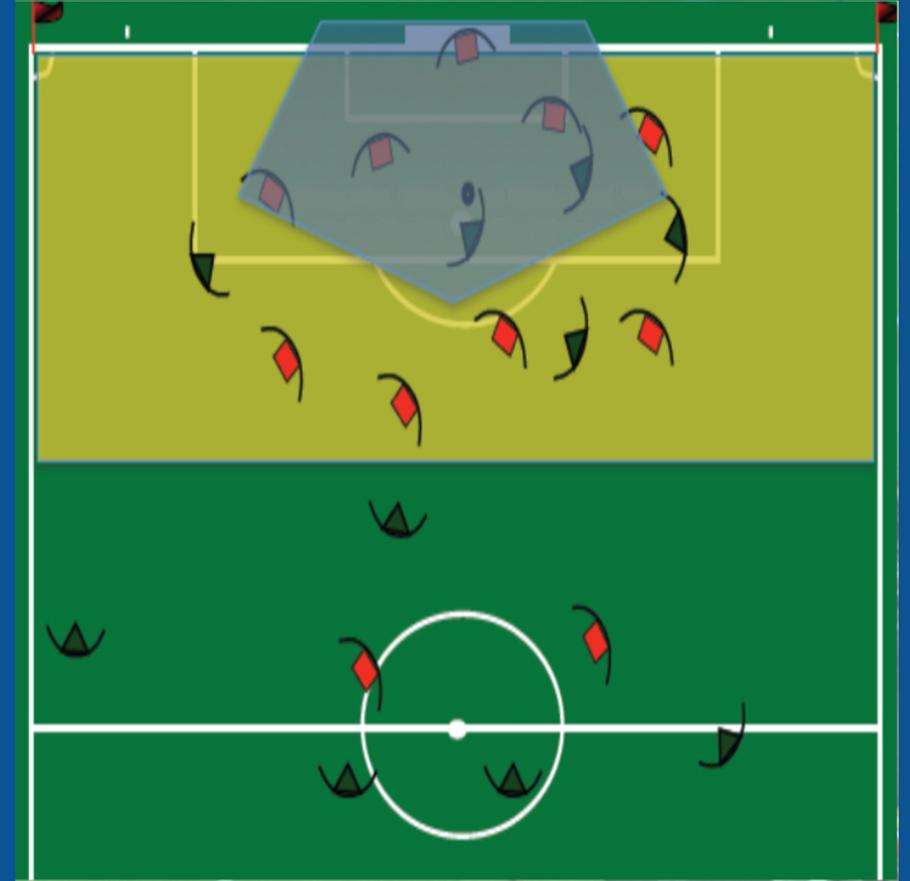
- スペースを作るため、行きたい方向の逆サイドにデスマルケを始める。
- 行きたい方向でマークを外すために、デスマルケのフェイントは長くし、相手の注意を引いて行きたい方向の逆へ相手を引き付ける。
- フェイントをする事で、自分をマークしている選手の守り方を知ることができる。
- ボールをコントロールする瞬間までデスマルケをやめない。（優位性を減らさないため。）



フォワード編④ フィニッシュゾーンでのシュート

1, フィニッシュゾーンでのシュート

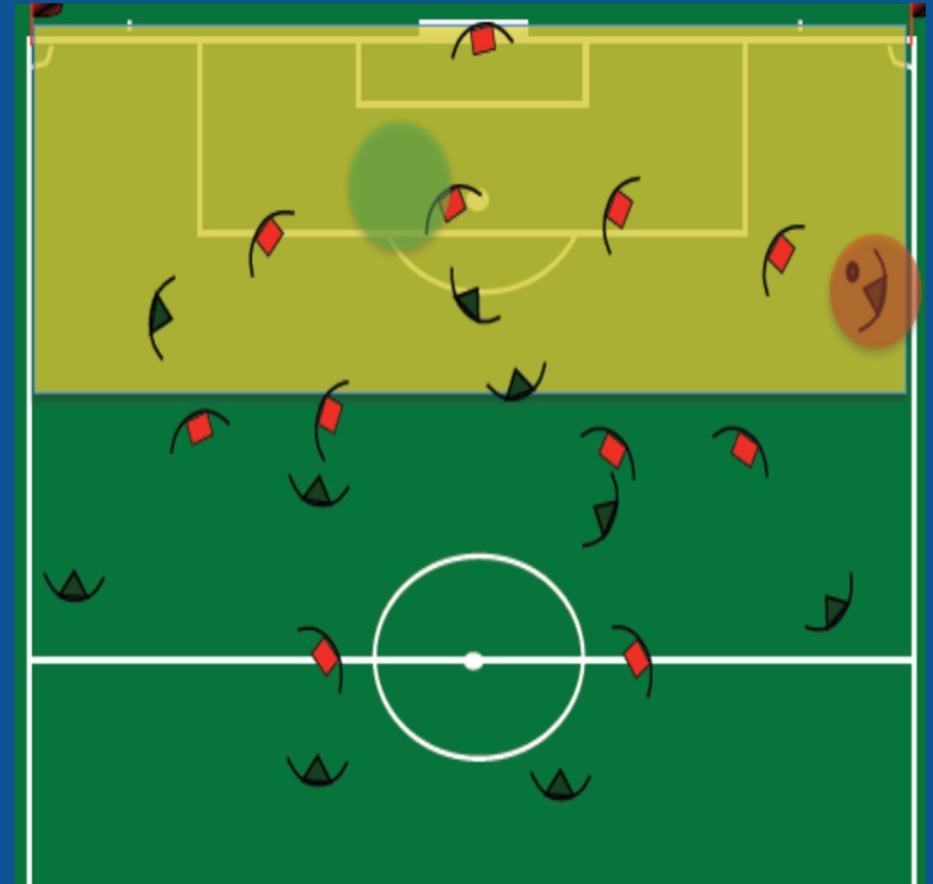
- 1タッチでのシュートを狙う。
- シュートのために体のあらゆる部分を使う。（うまくボールが届かない場合、インサイドでシュートする。）
- グラウンダーのシュート（いくつかの1×1の状況を除く。）
- **Priorizar la colocación a la potencia.**



フォワード編⑤センタリングに対してのシュート

1, センタリングの際、相手センターバックの背後にポジションをとる

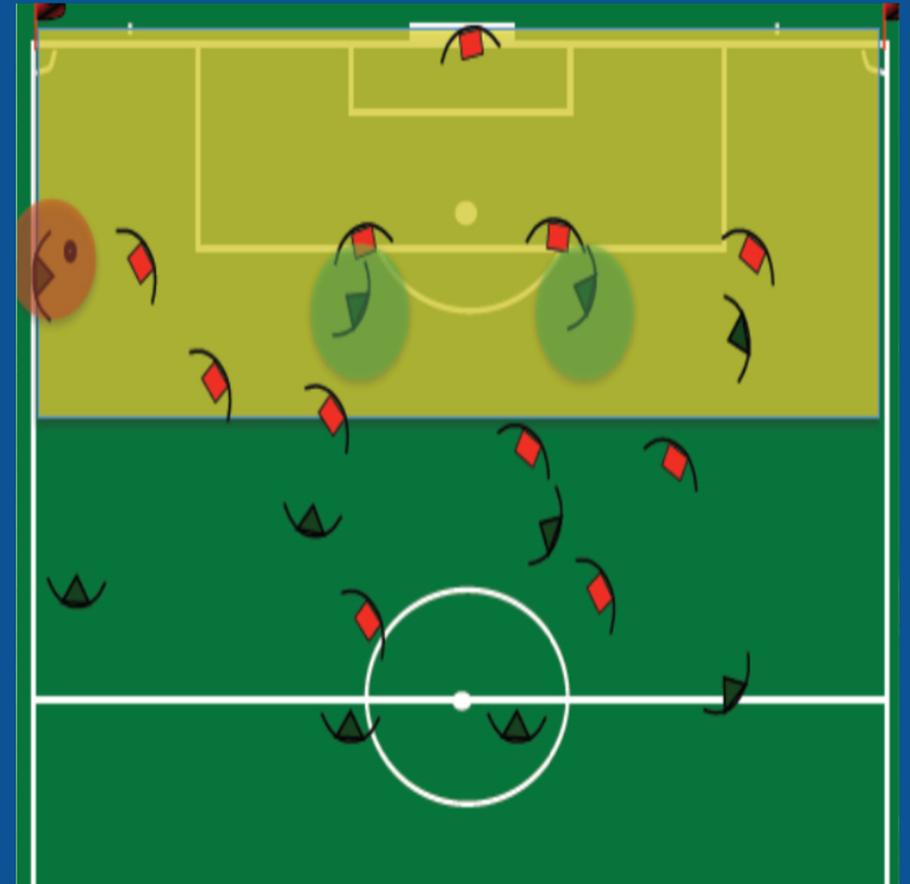
- 視野から外れるため、相手センターバックの背後にポジションをとる。
- ゴールから離れることなくセンタリングに合わせる。
- この動きは、サイドのボール保持者にスペースを与える。



フォワード編⑤ センタリングに対してのシュート

2, フィニッシュするためにデスマルケの方向を変える

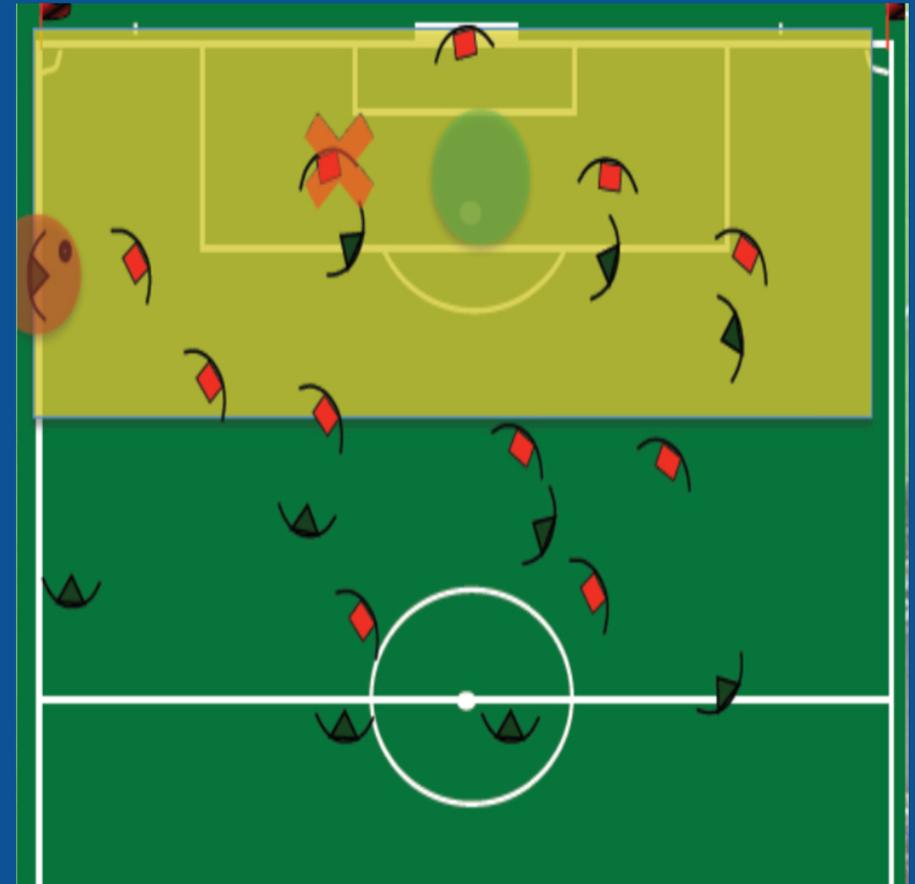
- フォワードは相手を騙すためにシュートに入ってくる時には方向を変える。
- デスマルケのタイミングをセンターリングに合わせる。(早すぎتهはいけない。)
- 早く入りすぎてしまったあた場合は、動き直して優位性を持った状態でシュートする。
- センタリングに対して走り込みながらフィニッシュする
- サイドハーフが自由にクロスをあげられないとき、ニアサイドを攻める。



フォワード編⑤ センタリングに対してのシュート

4, スペースに向かって走り込んで、
クロスに合わせる

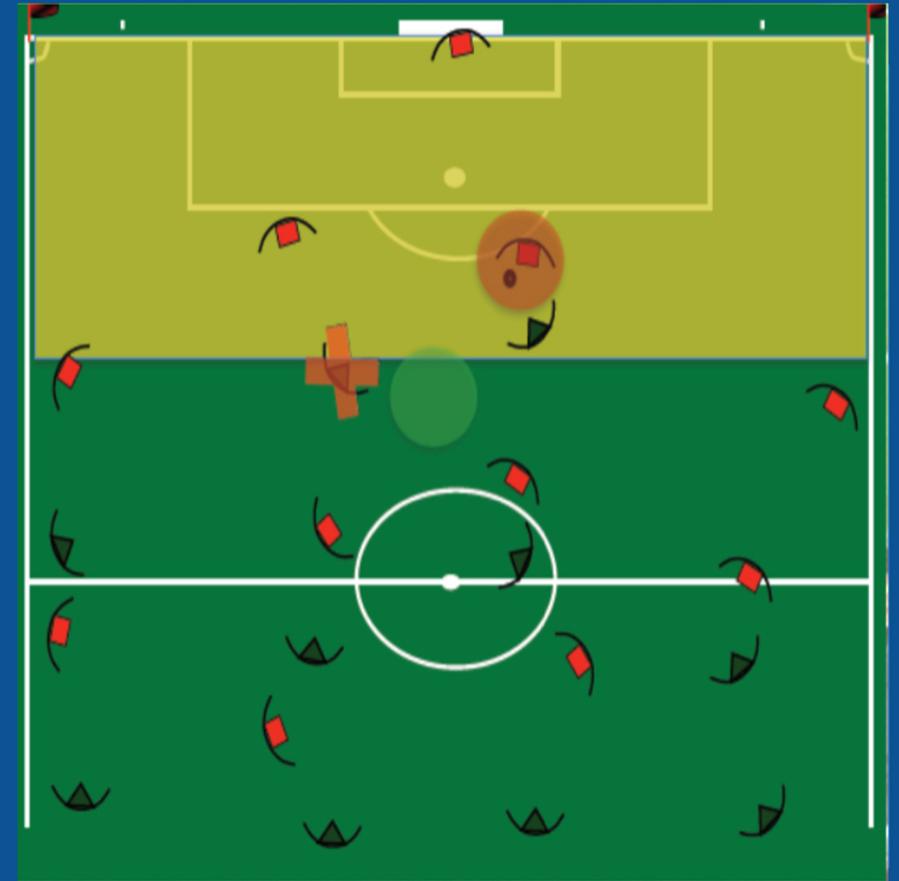
- 状況に応じてニア・ファーサイドを攻める。
- 1. サイドハーフが自由にクロスをあげられない状況：ニアサイド。
- 2. ニアに誰もいない状況：ニアサイド。
- 3. ファーサイドからクロスに入る場合：ニアサイド。
- 4. ニアサイドからクロスに入る場合：ファーサイド。
- 5. ゴールライン際からのクロス：マイナスで合わせる。
- 6. 他の選手がニアサイドに合わせに行った場合：ファーサイド。
- 7. サイドハーフが自由にクロスを上げられる。：ニア・ファーどちらかを選ぶ。



フォワード編⑥スペースの守備

1, 中央へのパスを防ぐ

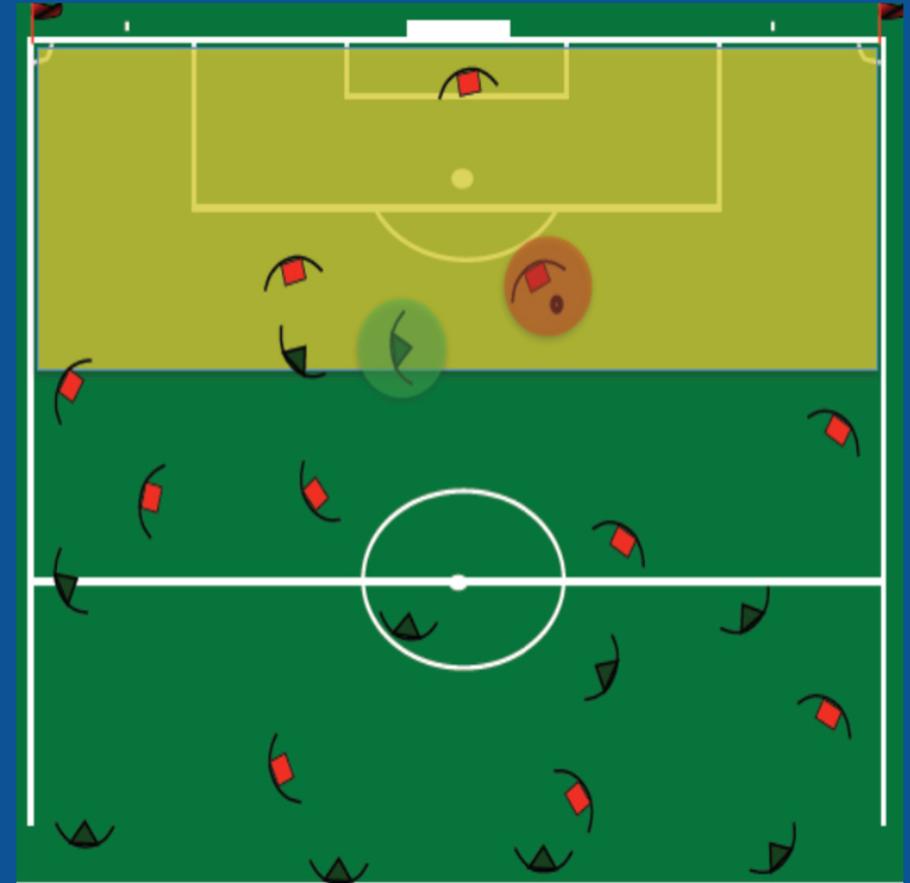
- 相手センターバックの相手ボランチへのパスを防ぐ。
- 相手センターバック間のパスを防ぐ。
- ボールを奪うのではなく、パスを困難にさせる。
- 2トップの場合、1人はプレッシャーに、もう1人はカバーする。
- ただし、自チームが高いラインでプレッシャーに出る場合、この限りではない。



フォワード編⑥スペースの守備

2, 相手センターバックの運ぶドリブルによる前進を防ぐ

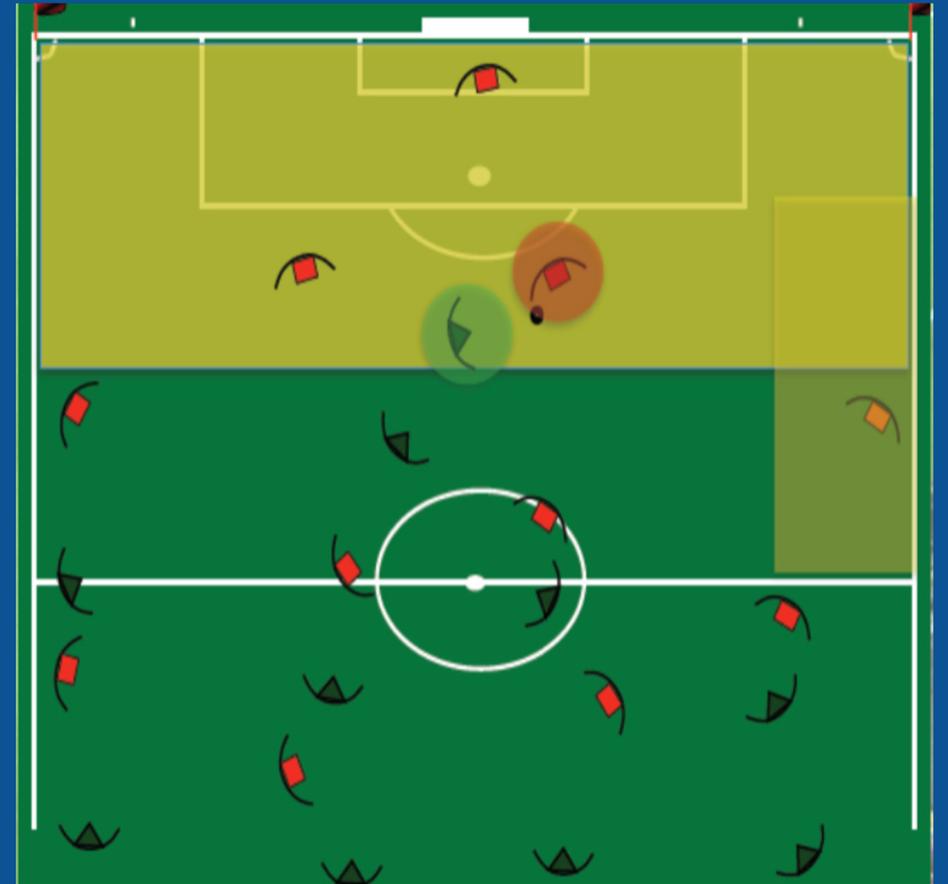
- 相手センターバックの運ぶドリブルによる全身を防ぐ。
- 相手センターバック間のパスを防ぐ。
- より技術のない相手センターバックへのパスを促す。
- リズムを変えてプレッシャーをかける。



フォワード編⑥スペースの守備

3, 相手のサイドゾーンへプレッシャーを誘導する

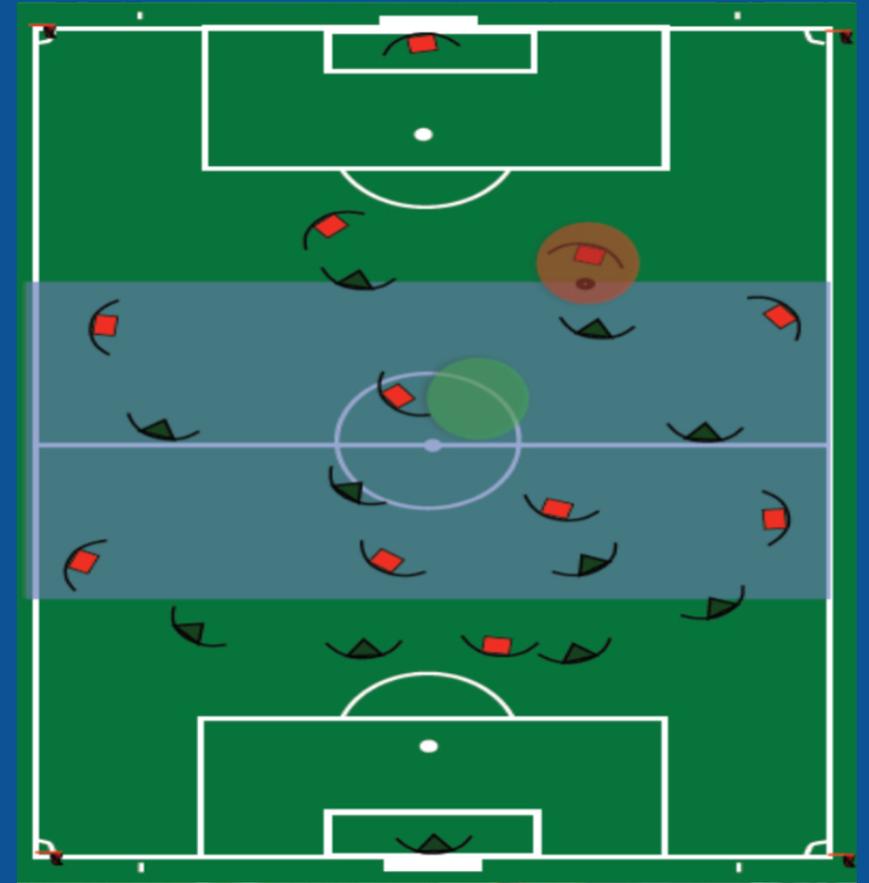
- サイドではよりボールを奪いやすいため、フォワードは相手ボールをサイドへ追い込む。
- サイドでの守備は自チームがプレッシングの動きで連動できる。



フォワード編⑥スペースの守備

4, 相手にターンさせない

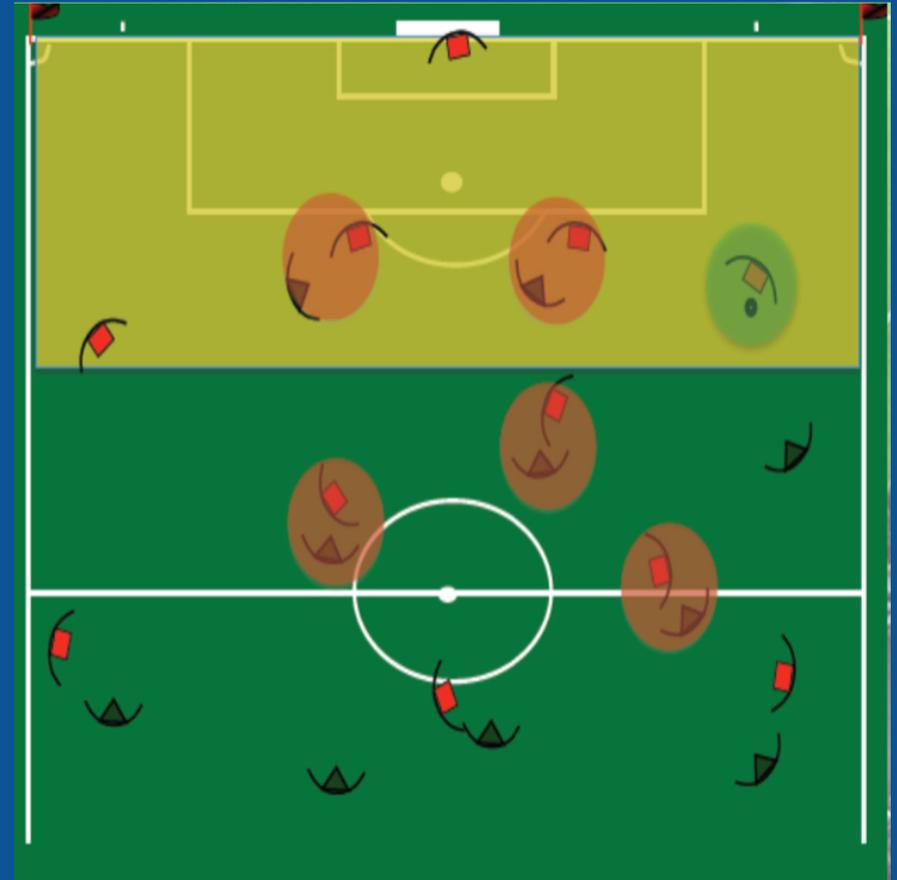
- ボールがサイドにある場合、フォワードは相手にターンさせない。
- 1トップの場合；そのファワードは、相手ボランチと2人目のセンターバックの間にポジションをとる。
- 2トップに場合；2人目のフォワードは絞ってカバーをし、相手の2人目のセンターバックにプレッシャーをかける準備をする。
- パスなどによって突破された時はプレスバックする。



フォワード編⑦ボール保持者への守備

1, ボールロストの瞬間にプレッシャーをかける

- チームがボールロストした場合、フォワードは積極的にプレッシャーをかける。
- 他の選手は連動する。



フォワード編

実践1：フォワードのメイン原則について改善するための
トレーニングメニューを最大2つ考えてみましょう！（オフェンス・ディフェンス1つずつ）



アウトプットまでが
インプットです！